

共同利用共同研究拠点 研究集会「環境微生物学最前線(2)」

開催場所:北海道大学低温科学研究所研究棟2階講義室

集会代表:福井 学(北海道大学低温科学研究所)

E-mail: my-fukui@lowtrem.hokudai.ac.jp

2017年2月17日(金)

時間	演者	所属	タイトル
9:00-9:10	小島久弥	北大 低温科学研究所	趣旨説明
			座長:嶋田敬三
9:10-9:30	岡本 怜	北大 低温科学研究所	貧栄養湖の湖水から分離された細菌の特徴づけ
9:30-10:00	Mia Terashima	ILTS, Hokkaido Univ.	Comparative analysis of microbial communities of colored snow from alpine snowfields
10:00-10:20	Melody Cabrera	ILTS, Hokkaido Univ.	Detection of the arxA gene encoding arsenite oxidase in various ecosystems by using newly designed PCR primers
10:20-10:40	久保響子	鶴岡工業高等専門学校	河口堆積物由来の炭化水素分解微生物群集の構造
10:40-11:00			休憩(弁当購入)
11:00-11:20	東岡由里子	高知工業高等専門学校	新規微生物の探索～硫酸還元菌と酵母～
11:20-12:00	力石嘉人	北大 低温科学研究所	生物間相互作用におけるエネルギーフローを可視化する技術 ～アミノ酸の安定同位体分析でみる生物の生合成・代謝系～
12:00-12:40			昼食
			座長:寺島美亜
12:40-13:00	田淵 敬一	大阪府環境農林水産部 環境管理室	水環境保全の課題(特に排水の管理)に対する微生物学的な視点からのアプローチの可能性
13:00-13:30	松井一彰	近畿大学理工学部社会環境工学科	細菌を生物指標にした都市河川水質評価の試み
13:30-13:50	藤永承平	京大学生態学研究センター	河川から湖にかけての細菌群集の動態
13:50-14:10	岡田久子	明治大学農学部	テムズ川における温暖化対策と絶滅危惧植物ウラギクの生育環境
14:10-14:30	程木義邦	京大学生態学研究センター	富栄養化した湖沼に出現するクリプトモナスの種組成とその季節変化
14:30-14:50	Indranil Mukherjee	CER, Kyoto Univ.	Dominance of kinetoplastid flagellates in the oxygenated hypolimnion of Japanese deep lakes
14:50-15:00			休憩
			座長:嶋田敬三
15:00-15:30	岡崎友輔	京大学生態学研究センター	大水深淡水湖の深水層に生きる微生物の生態学
15:30-16:00	米田恭子	産業技術総合研究所	水生植物-微生物共生系を構成する未知微生物の開拓とその生物機能の解明
16:00-16:30	石井浩介	IHI	動物細胞の効率的培養方法について
16:30-17:00	大石和恵	東京工芸大学	細胞内寄生細菌ブルセラ菌の北西太平洋の鯨類への感染
17:00-17:30	丸山正	JAMSTEC	超好熱古細菌の生存と分散
17:30-18:00	嶋田敬三	首都大学東京	総合討論
18:30-21:00			懇親会